

小学部1学年 図画工作（Bグループ）学習支援案

1. 単元名 「ねん土あそびをしよう」

2. 日時と場所 平成〇〇年〇〇月〇日（〇） 〇〇：〇〇～〇〇：〇〇

3. 目標

単元における グループ目標	○小麦粉粘土を伸ばしたり、ちぎったり、丸めたりしながら、簡単な形を作って遊ぶ。 ○小麦粉粘土の感触に慣れ、最後まで集中して活動する。					
本時における 個人目標	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
	○見本を参考にして好きな物を作る。 ○落ち着いて作品を作る。	○自分なりにイメージを持ち、色や形を考えながら作品を作る。 ○最後まで集中して活動に取り組む。	○見本を参考にして作品作りをする。 ○教師の支援を受けながら小麦粉粘土の感触に慣れる。	○作りたい物を教師に伝え、友達の作品や見本を見て作品作りをする。 ○より柔らかい粘土の感触に慣れ、最後まで集中して活動する。	○見本の中から作りたい物を選び、作品作りをする。 ○作りたい物や使いたい粘土の色や道具などを教師に言葉で伝えながら活動する。	○作りたい物を教師に伝え、見本を参考に色や形を考えて作品作りをする。 ○最後まで活動に集中する。

4. 本時の流れ 「こむぎこねん土であそぼう」 ※支援について 環：環境面への支援 理：理解面への支援 技：技能面への支援 意：意欲面への支援

学習内容	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
1. 本時の学習を知る ○パネルシアターを見る。 「おべんとうばこのうた」 ○作り方を知る。 〔小麦粉粘土を見たりさわったりする。〕	1. 本時の学習を知る。 理 T1に注目できるように、T2・T3がT1の方向を指さす。パネルシアターの中に、児童の手がかりとなるおかずやデザートを入れておく。 →					
				意 不安を表す言葉「心配」がでたらT3が横に座る。		
	意・技 一人ずつ友だちの前で、「おべんとうばこのうた」に出てくるおかずの中から作りたいものを、Tと一緒に作ることで見通しを持たせる。					
	環 友だちがするのを見て作り方を理解するので、順番を考慮する。	環 順番を最後にすることで、友だちの様子やTの話に注目させる。	技・意 好きな色を選ぶことで意欲を持たせ、T1が完成するよう手伝って完成させ、達成感を持たせる。	技 作りやすい固さと少なめの量で作りやすいようにする。	理・意 不安が先立つこと、友だちがするのを見て理解することが多いので、表情を見て順番を決める。	意 上手にできたことを誉め、活動への意欲付けを行う。
2. 小麦粉粘土で遊ぶ。 ○活動の場に行く。 ○材料を受け取る。 ○小麦粉粘土で好きなものを作り、弁当箱に入れる。	2. 小麦粉粘土で遊ぶ。 →					
	環 落ち着いて活動できるように、個別のスペースを設ける。(教室配置図参照)		理 本単元の学習経験が少ないので、好きなマッピングから始める。次に作りたい物を実物見本から選ばせる。	環 友だちの作品作りが見えて真似したり、意欲につながったりするように席をコの字型にする。(教室配置図参照)		
	環 作りたい色の粘土を少しずつ渡す。	環 一度に渡さず、好きな色の粘土を少しずつ渡し選択させる。	環 作りたい物の粘土を適量渡す。	理 作りたい物を選ばせ、絵カードをそばに置いておく。 →		
	環 手の汚れをすぐ気にするので濡れたお手拭きを用意する。	意 後方からの手本や言葉かけで、違う方法にも気づかせる。		環 Tの言葉かけで意欲が続くので右隣の席(横からの言葉かけ)にする。	環 自由に色が選べるように、色別に分けて入れた粘土を準備する。 →	

学習内容	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
	<p>意 見本カードを見せ、作りたい物を決めさせる。</p> <p>意 経験も少ないので、興味を持つ道具（型抜き、おもちゃのナイフ）を用意し、意欲を継続させる。</p>	<p>技・意 イメージを持っていない時は、絵カードや模型を見せ作成の支援を行う。</p> <p>意 次の作成に移れるように、でき上がりを写真に撮ったり賞賛したりし、完成したことを確認する。</p> <p>環 汚れた手をすぐに拭けるように、手拭タオルを用意する。</p>	<p>環 手の汚れをすぐ気にするので乾いたお手拭きや小麦粉を用意する。</p> <p>意 作品のおもしろさや上手くできたところを誉めることで、活動が続くように言葉をかける。</p> <p>意・技 難しい部分はT3と一緒に作り、作品が完成するように支援する。</p>	<p>環 柔らかい粘土は口に入れることがあるので始めは固めの物を渡し、少しずつ柔らかい粘土にしていく。作りたい物の粘土を適量渡す。</p>	<p>技 にんじん、きざみしょうがを作る時は、道具をカードと一緒に渡し、様子を見ながら支援する。</p> <p>意 楽しさや上手くできたことについて発言した時は共感し自信につなげる。</p>	<p>意 上手にできた作品を、D児・E児に見せることで自信と意欲の持続を図る。</p>
3. 片付け、手洗いをする。	意 できた作品を弁当箱に入れて、写真をとる。(児童の写真カードをそばにおいて)					
	3. 片付け、手洗いをする。					
4. 作品を発表する。	環 所定の場所にかごを準備しておく。意 全員が揃うまで「おべんとうばこのうた」を歌う。					
	4. 作品を発表する。					
5. 次時の学習を知る。	意 完成したお弁当を見せ合い、友だちの作品に関心を持たせる。					
	5. 次時の学習を知る。					
	意 次時はクッキーを作ることを知らせ、見本を見せる。					

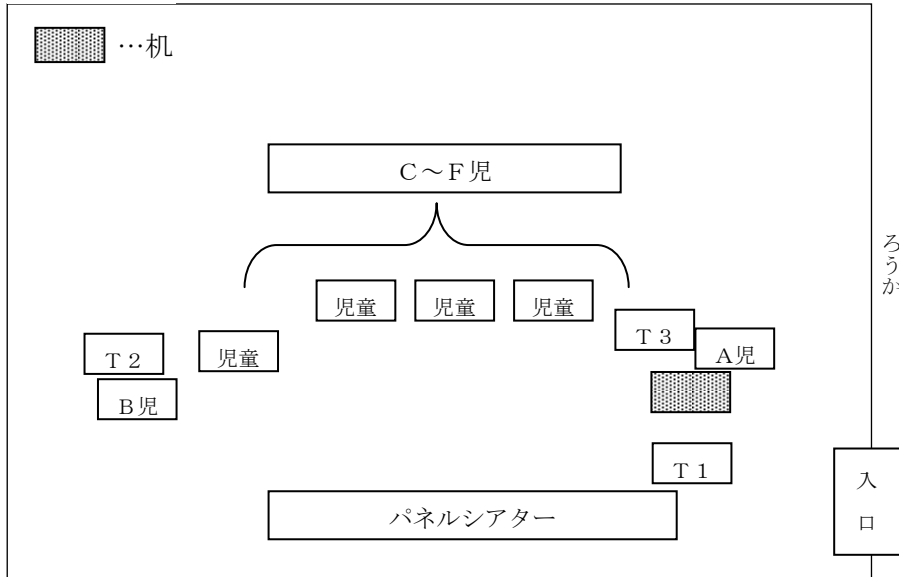
5. 評価

評価項目	できた○ ○の中に、A…自分で、B…ことばだけで、C…指さし・ジェスチャーで、D…見本・実物を見せる、E…教師と一緒に、できない×					
	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
小麦粉粘土で好きな物を作る。		でき上がりをイメージして作る。	見本を見てマッチングしながらお弁当を作る。	粘土を丸めたりのぼしたり、道具を使って切ったり型抜きをしたりする。	粘土を丸めたりのぼしたり、道具を使って切ったり型抜きをしたりする。	粘土を丸めたりのぼしたり、道具を使って切ったり型抜きをしたりする。
色や道具を選んで作品を作る		いくつかの方法や色を用いて作る。	作りたい物や色を選んで支援を受けながら作品を作る。	作りたい物や色をTに伝え、支援を受けながら作る。	要求をT3に伝えながら色や道具を選んで作品を作る。	色や道具を選んで作品を作る。
最後まで落ち着いて取り組む。		最後まで落ち着いて取り組む。	自分から粘土に触る。	柔らかい粘土でも活動を続ける。	自分や友だちの作品のおもしろさを言葉にする。	最後まで集中して作品を作る。

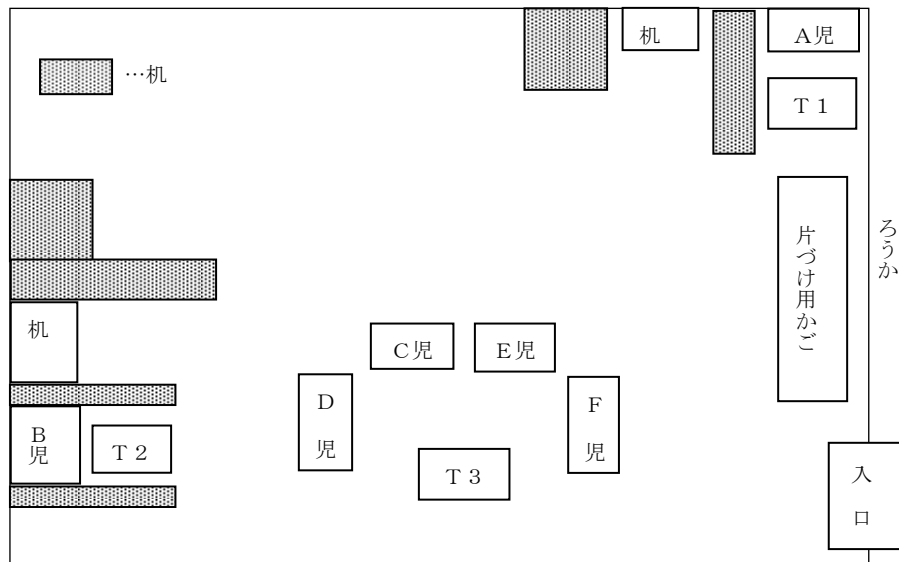
全体集合時

教室配置図

支援の工夫



活動時



「教材と単元」について

○児童が意欲を持って取り組むよう手触りや香りのよいパン粘土から活動を始め、固さやベタつきで触わりづらさがある小麦粉粘土やクッキー生地へと活動を進める。

活動計画・・・(7時間)

1. パン粘土であそぼう・・・3時間
 - 2色のねん土であそぼう・・・①
 - 5色のねん土であそぼう・・・①
 - パンのリースをつくろう・・・①
2. こむぎこねん土であそぼう・2時間
 - こむぎこねん土をつくろう・・・①
 - 6色のねん土であそぼう・・・①(本時)
3. クッキーをつくろう・・・2時間

○学習の中に遊びの要素を取り入れる。

- ・遊んでみる。→その作品を作る。
- ・作る→作った作品で遊ぶ。
- ・作りながら遊ぶ。

1時間の学習の流れについて

○見通しを持って取り組めるように毎時間同じ流れにする。

○パネルシアターや絵本を学習のはじめに取り入れ、本時への意欲づけと見通しを持つ手だてにする。

・スタンプ遊び—絵本

「やさいでぺったん」

・ねん土あそびをしよう

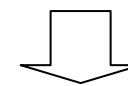
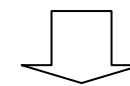
パネルシアター

「パンやさんでおかいもの」

「おべんとうばこのうた」

○作り方を知る。

見本や手順表を用意し視覚的に作り方がわかるようにしている。



図工は楽しい